



【2010年御礼】

今年も残すところあと僅かです。2010年寅年は36歳年男でした。長年の夢であったラフティング世界一を成し遂げる事ができた一生涯忘れられない年でした。93年にニュージールランドでラフティングと出会い、ラフティングを極めるべく世界中の激流を巡り、99年に競技の世界に入ってから強豪ヨーロッパを相手に向こう50年は無理だと言われていた「日本チームで世界一になる!」と言い続け挑戦しました。本当に沢山の方々がその自分の意志を支え続けてくれました。夢の達成はその方々がいなければなし得

ませんでした。7月17日、オランダの世界大会会場で優勝した瞬間、喜びよりもホッとする感情が先にでたのは「やっと支えてくれた方々の想いに応える事ができた」という想いがあつたからだと実感しました。本当の意味での財産は世界一という結果よりもその事だったので。2010年を終えるにあたり、いま一度皆様に心より感謝致します。ありがとうございます

【和の心とは】

今年の野球・日本シリーズはさすが、これぞ日本一!といった試合の連続でしたが中日・落合監督が「和」のスピーカーを掲げ日本一となった千葉ロッテを評して「強さを感じさせないのが相手の強いところ」と言いました。これからの世界は「和」の時代です。これは「和」と「集合意識」をスピーカーに掲げたラフティング日本代表が世界一となり確信した事です。では「和」とはなんでしょう?それは決して「みんなで仲良くやる事が一番大切」と言うわけではありません。「空気を読む事を最も大切にして主張するべき事を主張しない」ではありません。

「変化する事を恐れて出る杭を打つ事」でもありません。私が考える「和」とは・【本当に大切な目的を達成する為に自分のこだわりを捨て他者を受け入れること】だと思えます。力を誇示する事が強さではない!丸く収まれば良いという「事なかれ主義」ではない!これからの時代に必要な本当の強さとはこの「真の和」では無いでしょうか?落合監督のコメントの言わんとしている事はそう言うことなのだと感じたのです。日本は太古の昔から「和」の国です。聖徳太子も十七条憲法の一歩始めに「和をもって尊しとせよ」と言っています。そう、「和」の心は日本人の最大の特徴なのです!今こそ日本人の最大の長所である「和」を思い出し世界に出ていきましょう!

【そして2011年】

2011年は今までとは違う、新たな活動を始めます。ここ数年、私が18年間ラフティングや競技の世界を通じて世界の人々、文化、自然を見て、感じ、学んできたものを伝える事で、少しでも今の世の中や人々のお役に立てる事があるかも知れないと感じ、そ

のアイデアを暖めていました。それを実行してゆく時が来ました。具体的には講演活動や本の執筆、川や自然から大切な調和の精神や生き方を学ぶ今までは無い全く新しいラフティングツアーを開催します。詳細は私のブログ <http://blog.asanoshiget.com/> で随時お知らせして行きます。また、お送りさせていただいているこのニュースレター【PaddleHard!!!】ですが、今後改良し、メールマガジンとしてより頻繁に皆様にお届けさせていただきます。どうぞよろしくお願い致します

【講演会のお知らせ】

- 演題 世界最弱チームを8年間で世界一に引き上げた組織論
- 日時 23年1月27日(木) 14時~16時30分(受付13時40分)
- 会場 総合スポーツセンター第一会議室 4F(最寄駅:浜町)
- 申込 下記URLからお申し込み下さい <https://ssl.forman.com/form/pc/97uAAVSOidZuYlth/>
- 参加費用 無料 ■ 定員 40名
- 主催/共催 日本チームビルディング協会/株式会社アクションラングソリューションズ